

西伊豆健育会病院 塩住 忠春 医師 (後期研修医)

功 績 仲田が不在の間、後期研修医 塩住医師の代診により、患者さんに迷惑を掛けることなく、また外来患者数、入院患者数のマイナスが最小減で済んだ功績。

推 薦 者 院長 仲田 和正

推 薦 理 由 予期せぬ出来事により急遽、整形外科外来を休診にせざるを得ない状況になった時、塩住医師が代診を買って出てくれて、診療に大きな影響を出不さずに済んだ。研修医の塩住医師にとっては、不安が伴うチャレンジだったと思うが、果敢に挑んでくれた勇気を称え、私のピンチを救ってくれた塩住医師を理事長賞に推薦申し上げます。

内 容

塩住忠春医師は4月から6月末日まで当院で研修をおこなった整形外科の研修医である。

朝6時30分からの回診に始まり、整形外科外来、病棟回診、手術と私に同行して業務を行っており、実直な性格で仕事を淡々とこなしてくれていた。また、患者さん、医師のみならず看護師、コメディカル、事務職員に対しても姿勢を変えることがなく、信頼がおける医師であった。

今回、急遽、私が5月20日から5月29日まで療養することとなった。突然のことであり、患者さんの予約が多い日もあった。当初、外来は休診にして、入院継続可能な患者さんは内科医に振り分けるしかないと考えていた。塩住医師に「薬を希望する患者さんの対応だけお願いできますか。」と伝えた所、塩住医師は「僕のできる範囲になりますが、全員の患者さんを診させてください。」と言ってくれた。また、私は毎週火曜の午後、土肥クリニックでも診療している。塩住医師は「私でよろしければ、土肥クリニックの患者さんも診させてください。」と言ってくれた。

研修中に代診をお願いするのは、塩住医師の負担になるのではないかと思い、派遣元の教授に相談した。教授は私のことを非常に気遣ってくれて、「塩住にやらせてください。それも研修の一環ですので、ご心配には及びません。仲田先生が不在でも研修は継続させます。」と、とても心強い言葉をいただいた。僻地の小さな病院であっても、多くの人に支えられていることを実感し、好意に甘えることにした。

塩住医師のお陰で、私が病院を不在にしている間、予約の外来患者だけでなく、予約外の患者さんの診察もしてくれた。電話の問い合わせや受付で、「整形外科外来は休診です。」と伝えていたら他院に受診したと思われる患者さんもいる。入院患者の中には、私が不在な事に疑問と不安を口にした患者さんもいたそうだが、塩住医師が上手くフォローしてくれて患者さんは安心して入院生活を継続できた。

療養に入るにあたり、患者さんに迷惑を掛けてしまうことが、とても心苦しかった。しかし塩住医師のおかげで治療に専念できた。彼には感謝の言葉しかない。